

**日中サービス支援型共同生活援助
報告・評価
令和6年度**

ソーシャルインクルーホーム幸手北

グループホームふわふわ白岡

2025 年 1 月 10 日

日中サービス支援型共同生活援助の報告・評価シートの提出について
(令和 6 年度分)

(あて先) 幸手市長 木村純夫

所在地 東京都品川区南大井 6-25-3
法人名 ソーシャルインクルー株式会社
代表者名 代表取締役 松下 展千

上記の件について、下記及び別添のとおり提出します。

記

1 報告・評価シートを提出する事業所

事業所番号	事業所名	新規
1126100062	ソーシャルインクルーホーム幸手北	
1116100320	ソーシャルインクルーホーム幸手北 短期入所	

※今年初めて提出する事業所については、新規欄に○をつけてください。

2 本件に関する連絡先

担当者名	エリアマネージャー 島津 雄一郎
連絡先	080-4772-5041

日中サービス支援型共同生活援助事業所報告シート

【報告日 令和 7 年 1 月 10 日】

【評価日 令和 年 月 日】

事業所名 ソーシャルインクルーホーム幸手北

項目	【事業所記入欄】									
1 施設概要	事業者名	ソーシャルインクルーホーム幸手北			日中					
	指定日	令和4年	10月	1日	世話人	生活支援員				
	所在地	埼玉県幸手市北 2-19-29			15人	4人				
	定員数（共同生活援助）	20人			(常勤換算後)	(常勤換算後)				
	定員数（短期入所）	2人			6.3人	3.4人				
	共同生活住居数	2戸			看護職員の配置	□ 有 ☒ 無				
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】			夜間					
	住居名：ソーシャルインクルーホーム幸手北Ⅰ	10名			世話人（夜間）	生活支援員（夜間）				
	住居名：ソーシャルインクルーホーム幸手北Ⅱ	10名			11人	2人				
	住居名：短期入所 幸手北	2名			(常勤換算後)	(常勤換算後)				
住居名：	名			1.9人	0.2人					
住居名：	名			看護職員の配置	□ 有 ☒ 無					
事業所の特色・独自の取組	当事業所の特色としては、3障害の方では勿論ですが、5名の重複障害のご利用者様にご利用頂いており、所謂困難ケースと言われるご利用者様にもご利用頂いております。また、平均区分が男性4.4女性4.6となり重度のご利用者様に安心して生活を送れるように支援しております。			主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）						
2 利用者状況 (令和6年12月31日現在)	障害支援区分	人数			身体	総数：				
	非該当	人			主に日中 GH で過ごす人数：					
	区分1	人			2人					
	区分2	人			知的	総数：				
	区分3	5人			主に日中 GH で過ごす人数：					
	区分4	7人			精神的	総数：				
	区分5	2人			主に日中 GH で過ごす人数：					
	区分6	6人			難病等	総数：				
	合計	20人			主に日中 GH で過ごす人数：					
	年齢構成	・ 60歳以上 0人 ・ 50歳代 6人 ・ 40歳代 4人 ・ 30歳以下 10人			0人					
障害特性等	医療的ケアの必要な者			強度行動障害のある者 2人						

1 本サービス類型に対する理解【サービスの理解】	
① 日中サービス支援型が設けられた趣旨について、正しく理解している。	
(1)	日中サービス支援型が障がい者の重度化、高齢化に対応するために設けられたサービス類型であることを理解しているか。
	事業者記入欄（記載例 運営方針等から） 職員の面接時には業務内容だけではなくご利用者様像（対象者）もお伝えし、毎月行っている社内研修では権利擁護の観点からもフィードバックを求め、方針の理解とずれが無い確認を行っております。また、今年度は、全社的に新たな研修内容を取り入れ、より障がいサービスへの理解を深める事が出来る様に工夫をしております
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 毎月行っている社内研修は全職員が参加し、事業理念の共有や緊急対応、障がい特性等の研修のほか、令和6年度から新たに感染症や虐待防止・身体拘束等の適正化等の研修も取り入れており、日中サービス支援型が障がい者の重度化、高齢化に対応するために設けられたサービス類型であることを理解している。
(2)	指定申請理由が単に「報酬単価がほかの類型よりも高額であるから」等の理由でないか。
	事業者記入欄（記載例 運営方針等から） 他の類型（介護サービス包括型や外部サービス利用型）との支援体制や受け入れるべき対象の方との違いに関して理解し、常時の支援体制の確保や手厚い人員配置、日中、夜間、深夜に職員の配置を実施しております。支援内容として入浴、排泄、食事の介助等、ご利用者様の障害特性に応じて支援を行っております。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 利用者像を中重度の障がいのある人とイメージしており、中重度の人の生活場所の確保やニーズを把握して障がい特性に合わせた支援を行っている。
(3)	重度障がい者や高齢障がい者等の受け入れを意図しているか。
	事業者記入欄（記載例 利用者の想定、利用者の区分等の受け入れ状況等から） ご利用者様の想定として中重度の障がい者の方を対象とした利用を想定しており、手厚い職員配置やホーム内の設備の面においても継続して利用出来る事を想定し、中重度の障がい者の方にご入居いただいております。平均区分 男性：4.4 女性：4.5
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 重度障がい者や高齢障がい者等の受け入れを意図し、実際に入居している人の平均区分も4以上となっている。
(4)	介護サービス包括型との制度や報酬単価・加算の違いを理解・比較し、日中サービス支援型を希望しているか。
	事業者記入欄（記載例 運営方針等から） 介護サービス包括型では、主に夜間、休日においての支援を想定しているが、日中サービス支援型においては、24時間365日の相談・支援を提供しており、その旨、ホームご見学時にご説明し、ご納得いただいたうえでご契約・ご入居いただいております。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 同法人では他市で介護サービス包括型の事業も行っており、日中サービス支援型の違いを理解し研修も行っている。

② 日中は住居外の社会資源を利用して入居者の支援を行うことが基本であり、住居内で支援が完結することは例外的な対応であることを理解している。	
(1)	利用者が充実した日常生活が営めるよう、利用者の就労先や利用するほかの日中活動サービス等との連絡調整に努めているか。
	事業者記入欄（予定や事例等の具体的な内容を記入） 日々、日中活動先とはご利用者様のご様子、特に精神面や体調面の変化などについて、報告・連絡・相談を行っております。課題に上がった内容については、相談員様やご家族様、日中活動先と担当者会議等で共有し解決するよう連携しております。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 利用者の記録ファイルを確認した。担当者会議等で経過や課題の共有を図っており、連絡調整に努めていた。
(2)	日中を共同生活住居で過ごす場合、利用者の意向を踏まえた日中サービス支援型共同生活援助計画に基づき、充実した地域生活を送ることができるよう外出や余暇活動等の社会生活上の支援に努めているか。
	事業者記入欄（予定や事例等の具体的な内容を記入） 難病に罹患（筋ジストロフィー症）されたご利用者様が1名、現在も日中活動先のご利用が出来ない状況が続いております。車椅子での長時間の座位はご本人にご負担がかかる状態で遠方での通所は出来ない為、近隣（30分圏内）で実際に模索をしておりますが、現在困難な状況です。褥瘡が治癒し継続して訪問看護やリハビリ等を利用し、基本的な生活の基盤は整える事は出来ましたが、現状維持の状況が続いている状況です。今後もご本人やご家族、相談員と連携し、充実した地域生活が出来る様にご本人の意向を傾聴し努めて参ります
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 常時臥床の利用者については、援護地の行政担当者とも連携し、体調や健康管理のためのサービスを導入している。外出や余暇については、予約制の外出支援（無料）を行ったり、本人の障がい特性やニーズに合わせた支援を行っている。
(3)	移動支援や行動援護、重度訪問介護などの利用の意向についても確認し、必要に応じて利用を促しているか。
	事業者記入欄（予定や事例等の具体的な内容を記入） ご利用者様の意向や必要性に応じて相談員と連携をしておりますが、サービスを必要とされるご利用者様をご対応して頂ける社会資源がなく、また援護地との兼ね合いにより、サービスを受けれない状況もあります。引き続き、ご本人に意向を傾聴しながら、行政や相談員と連携し、利用、対応が可能な社会資源の模索して参ります。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 利用者ごとの障がい特性や必要性、意思を確認し、相談員と連携しながら利用を促している。

2 本サービス類型による指定の必要性【サービスの必要性】	
① 他のグループホーム類型ではなく、日中サービス支援型による指定を必要とする理由がある。	
(1)	外部の日中活動サービス等を利用することができず、日中を住居内で過ごさざるを得ない入居者がいる等、本サービス類型による指定を必要とする理由があるか。
	事業者記入欄（予定や事例等の具体的な内容を記入） 他県や同県の他の市からの入居に関しても進めており、入居時には地域の社会資源利用に繋がっていない状況や、ご利用者様の身体的・精神的な状況により日中活動先を利用できなく、やむを得ず住居内のみで支援を必要とされる方も対象としており、それに応じた職員配置も行っております。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒問題なし（問題がない場合は□にチェック） 外部の日中サービスを利用することが出来ず、やむを得ずグループホーム内で過ごしている利用者がいる。身体状況や、個々の状況によるもので、必要に応じて日中活動の検討を続けている。
(2)	日中を住居内で過ごさざるを得ない入居者について、障がい種別、障がい程度、支援区分、障がい状況等から個々に確認する。
	事業者記入欄（対象者がいる場合、具体的に記入） 指定難病/筋ジストロフィー症/区分6/1名 精神障害/区分4/1名 筋ジストロフィー症ご利用者様（終日、殆どベット上での生活、長時間の車椅子での座位は困難、症状の進行は顕著ではないが、徐々に筋力低下はある、食事摂取の際に工夫が必要） 精神障害の方（元々、一般就労を希望していて、ご本人に提案を続けているが、活気が余りなく、利用には至っていない、障害サービスへの提案もしているが、ご本人の意向とは合わず）
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒問題なし（問題がない場合は□にチェック） 個々の状況の確認を行った。今後も定期的な会議等により随時見直しを行っていく予定である。

3 住居内で提供する日中サービス【日中サービス】		
① 日中サービスの提供計画の内容が妥当である。		
(1)	日中の時間帯に住居内で提供されるサービスの種類や内容、提供する時間帯等に関する計画が妥当なものであるか。 事業者記入欄（予定や事例等の具体的な内容を記入） それぞれのご利用者様の通所利用日または休日を把握しながら訪問診療や訪問看護などの外部サービスの利用をいただいております。特に入浴については、通所先から戻られた際に順次支援しております。また、生活面のサポートとして居室清掃や洗濯等、ご利用者様の障害度合いに応じて支援を実施しております。 協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒問題なし（問題がない場合は□にチェック） 訪問診療や訪問看護などの外部サービスを利用しており、個々の状況による計画は妥当なものであった。	
	② 日中サービスを実施するために必要な職員体制が確保されている。	
	予定されている日中サービスの提供内容に対して、必要となる人員（人数及び職種）が確保されているか。 事業者記入欄（職員の配置状況） 1日の勤務体制については以下の通りです。 日勤：3～4名（管理者、サービス管理責任者、生活支援員、世話人） 夜勤：3～4名（管理者、生活支援員、世話人） 協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒問題なし（問題がない場合は□にチェック） 予定されている日中サービスの提供に対して、必要となる人員は確保されている。	
③ 日中サービスを実施するための場所や必要な設備が確保されている。		
(1)	予定されている日中サービスの提供内容に対して、必要となる住居内のスペースや設備が確保されているか。 事業者記入欄（設備等の具体的な内容を記入。必要に応じて図面等の提供） 住居内のスペースや設備として、ご利用者様に対して個室を提供しております。また、リビングには食事を摂れるスペースとして各々が摂取出来る様にテーブルと椅子を用意しております。入浴の際も様々な支援方法に対応が出来る様に個浴と介助浴（入浴が出来るリフトキャリー）の2タイプを用意しております。トイレは身体的に排泄の支援が出来る様に車椅子用トイレと自立している方が使用出来るトイレの2タイプの設備を用意しております。また生活面のサポートも提供出来る様に全自動洗濯機と乾燥機を用意しております。 協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒問題なし（問題がない場合は□にチェック） リビングや入浴設備、居室など、施設内の必要な場所や設備を確認した。また、災害発生時用に防災グッズも用意されている。	
	(2)	日中も居室内のみで過ごすことにならないよう、日中過ごせる交流スペースが十分確保されているか。 事業者記入欄（設備等の具体的な内容を記入。必要に応じて図面等の提供） リビングにはご利用者様全員が一斉に食事が摂れる十分なスペースの確保をしております。食事の時間外にはご利用者様同士や職員と交流が出来る場所としても使用しております。また余暇活動の場としても、ご利用者様同士が交流が持てる様に時間帯やご利用者様の意向に沿って交流出来る様に声掛けし参加を促しております。 協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒問題なし（問題がない場合は□にチェック） リビングには共用のテレビやボードゲームなどが用意されており、利用もされている。
		④ 利用者個人に合わせた、計画的な支援を行っている。
一律的な計画ではなく障がい種別、障がい程度、支援区分、障がい状況、本人の希望等から利用者個人に合わせた計画を行い、本人に説明を行っているか。 事業者記入欄（具体的な事例を記入） 日々、ご利用者様各個人に対して生活の状況、精神面、身体的な観察を職員にて記録をしてもらい、定期的なモニタリングを実施し、管理者・サービス管理責任者と現場職員と情報を精査し支援へつなげております。半年に1回のケア会議や必要に応じた担当者会議を実施し、経過やご本人の意向を確認しながら支援内容に解離がない様にご本人または代理人へ確認をして個別支援計画書に署名・捺印をいただき、計画書を作成しております。 協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒問題なし（問題がない場合は□にチェック） 計画や会議の記録などが保存されており、内容も利用者一人ひとりに合わせた計画となっている。		

4 地域生活の支援【地域性】	
① 地域ニーズの調査を行い、地域との交流につながる取り組みがある。	
(1)	地域との交流があり、ニーズを把握しているか。
	事業者記入欄（具体的な事例及び地域ニーズを記入） 幸手学園様やスタジオRich様と懇意にさせて頂いており、ご利用者様の日中活動先としてもご協力をいただいております。また、短期利用については、埼玉北地区障害者生活支援拠点「オリバ」様や支援センターひらの様から新たな短期利用者様の案件を頂き、ご利用を頂いております。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 生活介護や就労継続支援B型の事業所と交流があり、これらのサービスを利用する者のショートステイのニーズに応えている。
(2)	基準省令に定められているとおり、入居者の生活が住居内で完結しないよう、地域との交流につながる取り組みがあるか。
	事業者記入欄（具体的な事例を記入） ご利用者様やご家族様、相談員様とも話し合い、ご本人様に合った通所先の提案や体験を通しての利用をいただいております。また、お買い物同行や通院同行も行っております。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 買い物支援や通院同行など、住居外での生活支援の内容について確認した。また、買い物支援について、外出の難しい方にはネットショッピングの支援も行っている。
(3)	入居者が地域との交流につながる取り組みに参加できるよう、個々の障がい状況やニーズに応じたサービスを検討しているか。
	事業者記入欄（具体的な事例を記入） 障害の特性や障害者区分を基本的に考慮し、ご本人様やご家族様、後見人、相談員様等の意向やニーズを個々ヒアリングやモニタリングを行い、通所先や就労等の社会資源につなげ、地域との交流や参加が出来る様に考慮しております。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） ご本人及びご家族の状況に応じた個別の対応が出来ており、個々の障がい状況やニーズに応じたサービスの検討が行われている。
(4)	利用者家族との連携を図り、利用者とその家族との交流の機会を確保するよう努めているか。
	事業者記入欄（具体的な事例を記入） ご家族様や後見人、疎遠の場合は相談員等へ報連相を実施し、ご家族様からのニーズによる週1回の外泊や月1回の面会を推奨し交流の機会を設けております。また、発熱や転倒など事故等が起きた場合にはご家族様や相談員様にも共有することで都度、連携を図っております。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 定期的な面会の機会を設けるなど、交流機会の確保に努めている。

5 他機関との連携【連携】	
① 入居者に対するモニタリングが適切に実施されるよう、特定相談支援事業所等との連携がある。	
(1)	利用者に対して適切なサービス等の利用が図られるよう、特定相談支援事業所及び他の障害福祉サービスの事業を行う者と連携を図っているか。
	事業者記入欄（具体的な事例を記入） ご利用者様の様子の変化、特に精神状態の変化や転倒などの事故があった際には相談員様へ報告し、通所先の提案や車椅子や介護ベッド等の福祉用具の提案をしております。また、主治医にも都度、状況の変化をお伝えしながら必要に応じて訪問看護や訪問マッサージ等医療サービスを受けていただいております。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 特定相談支援事業所との連絡や相談など、適切に行われている。
② 埼玉北地区地域自立支援協議会の部会に積極的に参加している。	
(1)	埼玉北地区地域自立支援協議会の部会と積極的に連携を図っているか。
	事業者記入欄（具体的な事例を記入） 今年度も、継続して災害時の研修や、地域生活支援拠点への参加もご提案頂いており、現在、地域における重要な拠点として機能するように、仕組み作りを検討している状況です
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 部会等に積極的に参加し、連携を図っている。

6 利用者の健康管理【健康管理】	
① 利用者の健康状態の変化を把握できるよう、医療機関との連携がある。	
(1)	入居者の中に医療的配慮を必要とする人がいるかどうか確認し、健康状態の変化を把握するために医療機関と連携があるか。
	事業者記入欄（対象者の有無や健康状態の把握方法など具体的に記入） ご利用者様に対して、常に健康状態を把握する為に往診医や受診等の医療的な観点から状態を判断してもらう為に精神科、難病等への受診や、内科の訪問診療を活用しております。また、日常の状態把握として、必要に応じ訪問看護の利用をいただいております。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 医療機関等とも連携し、必要に応じて健康状態の変化などの記録も行われ共有されている。
(2)	医療的ケアを要する入居者がいる場合、医療的ケアが提供できるスタッフやヘルパー等のスタッフが配置されているか。
	事業者記入欄（具体的な状況を記入） 医療的ケアを必要とされるご利用者様は入居されていない為、専門的なスタッフの配置はございません。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック）

7 運営体制【運営】	
① 運営に関する方針や理念を内部で共有し、外部に発信している。	
(1)	安定した運営及びサービスの提供を行うため、職員間で方向性を共有し、外部に情報を公開しているか。
	事業者記入欄（具体的に記入） 毎月のホーム会議等でご利用者様の状況やホームの課題を共有し、解決・改善に努めております。また、ホーム全体の状況を相談員様等へお伝えすることで、短期入所のご相談や在宅等で不安定な生活を送られていらっしゃる方のご相談をお受けしております。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 毎月のホーム会議の中で事業理念の共有に関する研修等も行われている。
② 職員研修を計画的に実施している。	
(1)	職員研修を行い、人材育成に積極的に取り組んでいるか。
	事業者記入欄（具体的に記入） 人材育成につきましては、入社時の研修や継続的なOJT研修、動画研修を実施し、まずは安心して働いていただけるように環境整備を行っております。また、ご利用者様情報の共有や業務マニュアルを作成し、教える側と教わる側で情報の共有に差異が生じない様に心掛けて実施しております。さらに弊社の年間研修スケジュールを策定し、毎月研修を実施しております。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 研修スケジュールを提出していただき、実施状況を確認した。
③ 権利擁護・障害者差別について事業所全体が理解し、実践している。	
(1)	障がい者の権利擁護についての理解促進、障がい者差別解消に関する取り組みがあるか。
	事業者記入欄（具体的に記入） 年度内に2回、虐待防止・身体拘束について研修を行うとともに委員会を開催しております。 事前に配布したセルフチェックシートで職員自身の言動を振り返っていただく機会を設け、それを集計し、委員会にて集計結果を共有し、虐待と疑われるようなことはないか、早期発見・早期解決のための話し合いを行い、議事録として残しております。 また、職員同士が互いを助け合ったり、互いの言動に注意し合える風通しの良い職場環境にするために、出勤してきた職員の表情や体調に留意し声を掛け合うようにしております。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 権利擁護に係る定期的な研修が行われており、また、虐待防止・身体拘束等適正化委員会を開催することにより必要な情報や対応策等が共有されている。
④ 職員の採用や人事を計画的に行っている。	
(1)	安定した運営及びサービスの提供を行うための計画性があるかどうか。
	事業者記入欄（具体的に記入） 職員の採用については、随時採用活動を継続して実施しており、地域に根付いたホームとして積極的に地域からの人員確保を行っております。また、弊社の職員紹介制度にてより良い人材の確保に努めております。さらに令和5年12月より評価制度を新たに策定し、職員の成果に応じた昇給も半期毎に実施する予定で定着を図っております。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 新たな制度を導入するなどして、計画的な運営が行われている。
⑤ 自己及び第三者による事業所評価を実施している。	
(1)	地域に開かれたサービスとするため、自己及び第三者による事業所評価を行い、記録しているか。
	事業者記入欄（具体的に記入） 相談員様による定期的なモニタリングの際に支援方法等のご助言をいただいたり、担当者会議の際にケースワーカー様や相談員様、通所先の管理者様よりご助言やアドバイスをいただいております。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 埼玉県による実地指導や外部事業所、行政担当職員との連携を行っている。

8 定員規模【定員】	
① 定員規模が適正である。	
(1)	障がい者や高齢者の入所施設等、他のサービス等との併設、合築により、大規模で施設化した運営となっていないか。
	事業者記入欄（具体的に記入） 共同生活援助に特化した運営としており、2階建て構造で各階10名ずつ、短期入所2名の定員を上限として運営しており、他のサービスとの併用や大規模な運営はしていません。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック）
9 （2回目以降）埼玉北地区地域自立支援協議会からの要望・助言等への対応【要望・助言への対応】	
① 要望・助言等への対応がある。	
(1)	前回の要望・助言に対する取り組みを行っているか。
	事業者記入欄（具体的に記入） 埼玉北地区障害者生活支援拠点「オリバ」様や支援センターひらの様からの短期利用者様の案件を頂き、継続的な利用や、緊急的な利用に応じております。また必要に応じて、長期の短期利用にも積極的に対応をしている状況です。 地域生活支援拠点の機能を担えるように、現在仕組みづくりを継続し検討している状況です。
	また、定員に空きが出た場合に圏域内の行政や支援機関へ情報発信を実施しております。今年度も継続し、重要な支援拠点として担える様に努めて参ります。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 協議会からの要望に対し、積極的に検討・実施している。

埼玉北地区地域自立支援協議会からの要望・助言等

地域における重要な事業所として、圏域内の行政や支援機関との連携が重要であると考えています。
 定員に空きがある場合、圏域内の利用ニーズを把握し、入居の検討をお願いいたします。
 【現在の圏域内利用者数】合計4名〔内訳：蓮田0名 白岡0名 幸手2名 宮代1名 杉戸1名〕
 また、面談時におけるプライバシーの保護につきまして、面談室（個室）を設ける等の対策をお願いいたします。
 最後に、特に緊急時における社会資源の活用を目的として、今後も埼玉北地区障害者生活支援拠点「オリバ」との連携を継続していただき、また、地域生活支援拠点の機能を担う事業所としての登録についてもご検討ください。

令和 6 年 11 月 21 日

日中サービス支援型共同生活援助の報告・評価シートの提出について
(令和 6 年度分)

(あて先) 白岡市長 様

所在地 東京都港区芝 5 丁目 3-2
+SHIFT MITA 6 階

法人名 株式会社 恵

代表者名 代表取締役 中出 了輔

上記の件について、下記及び別添のとおり提出します。

記

1 報告・評価シートを提出する事業所

事業所番号	事業所名	新規
1126600046	クループホームふわふわ白岡	○
1116600113	クループホームふわふわ白岡（短期）	○

※今年初めて提出する事業所については、新規欄に○をつけてください。

2 本件に関する連絡先

担当者名	渋谷とも子（サービス管理責任者）
連絡先	0480-48-5140

日中サービスマス支援型共同生活援助事業所報告シート

【報告日 令和6年11月21日】

【評価日 令和7年3月18日】

事業所名：グループホームふわふわ白岡

項目	【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業者名	株式会社恵			日中						
	指定日	令和5年	6月	1日	世話人	生活支援員					
	所在地	埼玉県白岡市白岡1006-1			4人	5人					
	定員数（共同生活援助）	10人			(常勤換算後)	(常勤換算後)					
	定員数（短期入所）	1人			3.8人	1.8人					
	共同生活住居数	1戸			看護職員の配置	☐ 有 ☒ 無					
	【住居の内訳】				夜間						
	住居名：A棟	6名			世話人（夜間）	生活支援員（夜間）					
	住居名：短期	1名			1人	9人					
	住居名：	名			(常勤換算後)	(常勤換算後)					
	住居名：	名			1人	1人					
	住居名：	名			看護職員の配置	☐ 有 ☒ 無					
	事業所の特色・独自の取組										
2 利用者状況 (令和6年11月21日 現在)	障害支援区分	人数			主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）						
	非該当	0人			身体	総数：	5人				
	区分1	0人			主に日中GHで過ごす人数：				5人		
	区分2	0人			知的	総数：	0人				
	区分3	0人			主に日中GHで過ごす人数：				人		
	区分4	3人			精神	総数：	4人				
	区分5	3人			主に日中GHで過ごす人数：				4人		
	区分6	人			難病等	総数：	0人				
	合計	6人			主に日中GHで過ごす人数：				人		
	年齢構成	・60歳以上 4人 ・50歳代 1人 ・40歳代 0人 ・30歳代もしくは以下 1人									
	障害特性等	医療的ケアの必要な者			0人	強度行動障害のある者					
					0人						

1 本サービス類型に対する理解【サービスの理解】	
① 日中サービス支援型が設けられた趣旨について、正しく理解している。	
(1)	日中サービス支援型が障がい者の重度化、高齢化に対応するために設けられたサービス類型であることを理解しているか。 事業者記入欄（記載例 運営方針等から） ・8050問題（親が80歳、子が50歳の世帯の問題）は、一般家庭だけでなく、障がい者がいる世帯においても解決すべき重要な社会問題として取り上げられています。しかし実際には、5%未満の障がい者しかグループホームに入ることができていないのが現状です。グループホームや今後の普及が見込まれるファミリーホームを通じて、障がい者が安心して福祉サービスを利用し、自立した暮らしができる明るい未来の実現を目指しています。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 社内の職員研修でもサービスに関する教育を行っている。
(2)	指定申請理由が単に「報酬単価がほかの類型よりも高額であるから」等の理由でないか。 事業者記入欄（記載例 運営方針等から） ・株式会社恵は「今ここにはない未来を創造する」を志として、私たちに関わるすべての方々とともに成長し、社会に必要な基盤を創造し続けていくことを目指しています。その思いのもと、私たちは掲げています。 ・指定申請理由が単に「報酬単価がほかの類型よりも高額であるから」等の理由ではありません。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 中重度の人の生活場所の確保やニーズを把握して障がい特性に合わせた支援を行っている。
(3)	重度障がい者や高齢障がい者等の受け入れを意図しているか。 事業者記入欄（記載例 利用者の想定、利用者の区分等の受け入れ状況等から） （通常受入人数） ・受入れ体制あり ・地域で生活する障害者家族、高齢者家族からの相談あり （利用者の想定・利用者の区分等の受け入れ状況等から） ・障がいのある方やそのご家族が、困ることのない明るい希望の世界をつくることです。いつもご利用者さまやそのご家族の立場になって真剣に考えています。差別という言葉自体も無くしていきたい。そんな想いを持ちながら日々精進していきます。 ・相談があれば一件一件、誠意をもって対応させて頂いております。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 重度障がい者や高齢障がい者の受入ができる設備があり、受け入れ態勢を作っている。
(4)	介護サービス包括型との制度や報酬単価・加算の違いを理解・比較し、日中サービス支援型を希望しているか。 事業者記入欄（記載例 運営方針等から） （社内研修を実施） ・管理者研修を通して介護サービス包括型との制度や報酬単価・加算の違いを理解し日中サービス支援型としての役割を担えるよう努力しています。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 社内の管理者研修を毎月実施し、制度等の理解の向上を図っている。

② 日中は住居外の社会資源を利用して入居者の支援を行うことが基本であり、住居内で支援が完結することは例外的な対応であることを理解している。	
(1)	利用者が充実した日常生活が営めるよう、利用者の就労先や利用するほかの日中活動サービス等との連絡調整に努めているか。
	事業者記入欄（予定や事例等の具体的な内容を記入） ・利用者、家族、相談員事業所と連携をとり、希望に近づけるよう努めています。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 利用者や関係者と調整し、日中活動サービス（生活介護）に繋げる等を行っている。
(2)	日中を共同生活住居で過ごす場合、利用者の意向を踏まえた日中サービス支援型共同生活援助計画に基づき、充実した地域生活を送ることができるよう外出や余暇活動等の社会生活上の支援に努めているか。
	事業者記入欄（予定や事例等の具体的な内容を記入） （交流機会の事例、日時等） ・地域の中での日常の散歩や買い物による地域交流、買い物や散歩といった日常の生活の中で社会と分かり合える暮らしを目指しています。 ・関連機関との連携を通じ社会参加ができるよう努めている。 ・日中を共同生活住居で過ごす場合、利用者の意向を踏まえた日中サービス支援型共同生活援助計画に基づき、充実した地域生活を送ることができるよう外出レクとして買い物、散歩、ゲーム、日光浴などの余暇活動等の社会生活上の支援に努めています。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 散歩や買い物を定期的に行い、社会参加を図っていることを活動記録から確認した。
(3)	移動支援や行動援護、重度訪問介護などの利用の意向についても確認し、必要に応じて利用を促しているか。
	事業者記入欄（予定や事例等の具体的な内容を記入） ・利用者の意向を踏まえ、移動支援や行動援護、重度訪問介護などが必要に応じて利用できるよう努めていきたい。 ※現在、移動支援に関しては施設でになっているが今後はサービス等へ繋いでいきたい。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 通院の移動支援を施設で行っている。

2 本サービス類型による指定の必要性【サービスの必要性】	
① 他のグループホーム類型ではなく、日中サービス支援型による指定を必要とする理由がある。	
(1)	外部の日中活動サービス等を利用することができず、日中を住居内で過ごさざるを得ない入居者がいる等、本サービス類型による指定を必要とする理由があるか。
	事業者記入欄（予定や事例等の具体的な内容を記入） ・ 外部の日中活動サービス等を利用することができず、日中を住居内で過ごさざるを得ない入居者がいる等、本サービス類型による指定を必要とする理由を十分理解し、日中サービス支援型グループホームの役割を果たしていけるよう努めています。 ・ 現在、日中サービス支援型グループホームを利用している5名の利用者に関しては本人の意向を大切にしながら機会をもうけ将来的には外部利用できるよう繋げていきたい。 （※5名の内1名は生活介護体験中）
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒問題なし（問題がない場合は□にチェック） 個々の状況について、記録を確認した。定期的に見直しを行っている。
(2)	日中を住居内で過ごさざるを得ない入居者について、障がい種別、障がい程度、支援区分、障がい状況等から個々に確認する。
	事業者記入欄（対象者がいる場合、具体的に記入） ・ 障がい種別/障がい程度： ・ 身体/区分4/1名、身体・精神/区分5/2名、身体・精神/区分4/2名、精神/区分5/1名 ・ 障がい状況：統合失調症、高次性機能障害、境界性パーソナリティ障害
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒問題なし（問題がない場合は□にチェック） 個人ファイルを確認した。

3 住居内で提供する日中サービス【日中サービス】	
① 日中サービスの提供計画の内容が妥当である。	
(1)	日中の時間帯に住居内で提供されるサービスの種類や内容、提供する時間帯等に関する計画が妥当なものであるか。 事業者記入欄（予定や事例等の具体的な内容を記入） ・利用者の意向に基づきグループホームの生活にマッチできるよう努めています。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒問題なし（問題がない場合は□にチェック） 訪問診療などの外部サービスを利用しており、個々の状況による計画は妥当なものであった。
② 日中サービスを実施するために必要な職員体制が確保されている。	
(1)	予定されている日中サービスの提供内容に対して、必要となる人員（人数及び職種）が確保されているか。 事業者記入欄（職員の配置状況） （日中） ・世話人：4人 ・生活支援員：5人 （夜間） ・世話人：1
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒問題なし（問題がない場合は□にチェック） 予定されている日中サービスの提供に対して、必要となる人員は確保されている。
③ 日中サービスを実施するための場所や必要な設備が確保されている。	
(1)	予定されている日中サービスの提供内容に対して、必要となる住居内のスペースや設備が確保されているか。 事業者記入欄（設備等の具体的な内容を記入。必要に応じて図面等の提供） （居室） ・居室：1人部屋（個室） ・面積：4.5畳以上 ・リビングや食堂に繋がる出入口がある ・他の居室と明確に区分されている ・介護浴（可能）、個浴対応（可能） （リビング・食堂） ・利用者が相互交流を図ることのできる設備となっている ・十分な広さを確保できている （風呂） ・利用者の特性に応じたもの （洗面所・トイレ） ・利用者の特性に応じたもの ※車いす対応 2箇所、自立 1箇所 （台所） ・調理スペースとして十分な広さが確保できている
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒問題なし（問題がない場合は□にチェック） 入浴設備や居室など、施設内の必要な場所や設備を確認した。

	日中も居室内のみで過ごすことにならないよう、日中過ごせる交流スペースが十分確保されているか。
	事業者記入欄（設備等の具体的な内容を記入。必要に応じて図面等の提供） ・ 十分の広さが保たれている。
(2)	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒問題なし（問題がない場合は□にチェック） リビングには共用のテレビがあり、また、季節に応じた装飾を行い、明るい雰囲気があった。
④ 利用者個人に合わせた、計画的な支援を行っている。	
	一律的な計画ではなく障がい種別、障がい程度、支援区分、障がい状況、本人の希望等から利用者個人に合わせた計画を行い、本人に説明を行っているか。
	事業者記入欄（具体的な事例を記入） ・ 本人の意向に沿えるよう共に意見をだし合い、家族や関連施設等から助言を頂き連携をとりながら計画を立てています。 ・ モニタリングは半年毎に行っています。・ その他中間モニタリングも行っています。※随時、利用者様から要望や思いを聞ける状況です。
(1)	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒問題なし（問題がない場合は□にチェック） 個別の利用者ファイルを確認した。計画や会議の記録などが保存されており、内容も利用者個人に合わせた計画となっている。

4 地域生活の支援【地域性】	
① 地域ニーズの調査を行い、地域との交流につながる取り組みがある。	
(1)	地域との交流があり、ニーズを把握しているか。
	事業者記入欄（具体的な事例及び地域ニーズを記入） ・地域との交流や地域ニーズを把握等は、今後の課題としています。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☐ 問題なし（問題がない場合は ☐ にチェック） 地域の日中サービス事業所との交流を検討してください。また、埼葛北地区自立支援協議会の部会に参加することにより、地域のニーズについて、知ることができます。
(2)	基準省令に定められているとおり、入居者の生活が住居内で完結しないよう、地域との交流につながる取り組みがあるか。
	事業者記入欄（具体的な事例を記入） ・現在は買い物や散歩などで職員と連れ添って地域交流を図っています。 ・職員とゲーム、ラジオ体操、脳トレなどを行っています。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は ☐ にチェック） 買い物支援や通院同行など、住居外での生活支援の内容について確認した。
(3)	入居者が地域との交流につながる取り組みに参加できるよう、個々の障がい状況やニーズに応じたサービスを検討しているか。
	事業者記入欄（具体的な事例を記入） ・現在は買い物や散歩などで地域交流を図っています。 ・地域交流については、今後の課題としています。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☐ 問題なし（問題がない場合は ☐ にチェック） 地域交流については、埼葛北圏域の日中サービス事業所との連携等を検討してください。
(4)	利用者家族との連携を図り、利用者とその家族との交流の機会を確保するよう努めているか。
	事業者記入欄（具体的な事例を記入） ・家族との面会はスムーズにできています。・利用者様、ご家族様からの要望があればで外泊、外出が可能です。 ・発熱、転倒などの事故発生時の連絡先は掲示あり。ご家族様、相談員へも速やかに連絡し連携が取れる状態にあります。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は ☐ にチェック） 個人ファイルの連絡先等を確認した。事故発生時等の対応方法について、マニュアルが作成されている。

5 他機関との連携【連携】	
① 入居者に対するモニタリングが適切に実施されるよう、特定相談支援事業所等との連携がある。	
	利用者に対して適切なサービス等の利用が図られるよう、特定相談支援事業所及び他の障害福祉サービスの事業を行う者と連携を図っているか。 事業者記入欄（具体的な事例を記入） ・特定相談事業所、訪問看護、訪問医療等と連携を図っています。
(1)	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 買い物支援や通院同行など、住居外での生活支援の内容について確認した。
② 埼玉北地区地域自立支援協議会の部会に積極的に参加している。	
	埼玉北地区地域自立支援協議会の部会と積極的に連携を図っているか。 事業者記入欄（具体的な事例を記入） ・今後の課題としています。
(1)	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☐ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 埼玉北地区自立支援協議会サービス管理者部会等への参加について、検討をお願いします。

6 利用者の健康管理【健康管理】	
① 利用者の健康状態の変化を把握できるよう、医療機関との連携がある。	
(1)	入居者の中に医療的配慮を必要とする人がいるかどうか確認し、健康状態の変化を把握するために医療機関と連携があるか。
	事業者記入欄（対象者の有無や健康状態の把握方法など具体的に記入） ・ 訪問看護、訪問医療、訪問リハビリ、訪問薬局等と連携を図っています。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 個人ファイルを確認し、訪問看護等の予定等を確認した。
(2)	医療的ケアを要する入居者がいる場合、医療的ケアが提供できるスタッフやヘルパー等のスタッフが配置されているか。
	事業者記入欄（具体的な状況を記入） ・ 現在、医療的ケアを要する入居者がおりません。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック）

7 運営体制【運営】	
① 運営に関する方針や理念を内部で共有し、外部に発信している。	
(1)	安定した運営及びサービスの提供を行うため、職員間で方向性を共有し、外部に情報を公開しているか。 事業者記入欄（具体的な状況を記入） ・現在の課題です。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☐問題なし（問題がない場合は☐にチェック） 職員間の方向性の共有は社内研修等で行われているが、外部への情報公開について、ホームページの活用や埼玉葛北地区自立支援協議会の部会への参加等検討してください。
② 職員研修を計画的に実施している。	
(1)	職員研修を行い、人材育成に積極的に取り組んでいるか。 事業者記入欄（具体的に記入） （虐待等に関する研修の受講状況、内部研修実施状況） 直近の研修 （職員全員）令和6年9月13日より順次 （対象：職員全員、期間：毎月） （虐待発生時の対応、発生後の対応等） ・職員全員がいつでも外部、社内へ通報でき→その後、法人として対応出来るようにルール化している
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒問題なし（問題がない場合は☐にチェック） 職員向けの様々な研修が定期的に行われている。
③ 権利擁護・障害者差別について事業所全体が理解し、実践している。	
(1)	障がい者の権利擁護についての理解促進、障がい者差別解消に関する取り組みがあるか。 事業者記入欄（具体的に記入） ①（金銭管理の支援方法、状況） ・金銭管理契約により支援している ②（成年後見制度の利用支援及び利用者数） ・利用者支援事例 ☐有 ☒無 ③（利用者に配慮した支援・取組事例） ・モニタリングにて本人・家族の意思確認を行い個別支援計画にて繁栄し自己決定および家族の合意等に配慮ある支援が出来るよう努めている。 ④（虐待等に関する研修の受講状況、内部研修実施状況） 直近の研修 （職員全員）令和6年9月13日より順次 （対象：職員全員、期間：毎月） （虐待発生時の対応、発生後の対応等） ・職員全員がいつでも外部、社内へ通報でき→その後、法人として対応出来るようにルール化している
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒問題なし（問題がない場合は☐にチェック）
④ 職員の採用や人事を計画的に行っている。	

(1)	安定した運営及びサービスの提供を行うための計画性があるかどうか。
	事業者記入欄（具体的に記入） ・現時点では、今後に関しては今現在、連座制であり拡大の計画は立てられません。 ・現在はいま、出来る限りの提供をさせて頂いております。 ・将来の見込みが出てから安定した運営及びサービスの提供を行うための計画性について検討していきたいです。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 現在、提供されているサービスの状況は問題ありません。
⑤ 自己及び第三者による事業所評価を実施している。	
(1)	地域に開かれたサービスとするため、自己及び第三者による事業所評価を行い、記録しているか。
	事業者記入欄（具体的に記入） ・ふわふわグループでは社内での事業所評価、自主点検は行っております。白岡に関してはオープンしたばかりであり、まだ実施にいたっておりません。 ・今後の課題です。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☐ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 事業所評価については、早期に実施できるよう検討してください。

8 定員規模【定員】

① 定員規模が適正である。

(1)	障がい者や高齢者の入所施設等、他のサービス等との併設、合築により、大規模で施設化した運営となっていないか。
	事業者記入欄（具体的に記入） ・現時点では、今後に関しては今現在、連座制であり拡大の計画は立てられません。 ・現在は、いま出来る限りの提供をさせて頂いております。 ・将来の見込みが出てから安定した運営及びサービスの提供を行うための計画性について検討していきたいです。
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☒ 問題なし（問題がない場合は□にチェック） 他サービス等との併設、合築になっていない。

9 （2回目以降）埼玉北地区地域自立支援協議会からの要望・助言等への対応【要望・助言への対応】

① 要望・助言等への対応がある。

(1)	前回の要望・助言に対する取り組みを行っているか。
	事業者記入欄（具体的に記入）
	協議会評価欄（要望・助言・評価） ☐ 問題なし（問題がない場合は□にチェック）

埼玉北地区地域自立支援協議会からの要望・助言等

地域における重要な事業所として、圏域内の行政や支援機関との連携が重要と考えています。

定員に空きがある場合、圏域内のニーズを把握し、入居の検討をお願いいたします。

特に緊急時における社会資源の活用を目的とし連携で、埼玉北地区障害者生活支援拠点「オリバ」との連携と、地域生活支援拠点の機能を担う事業所としての登録をご検討ください。

また、サービス管理者の常駐についてもご検討をお願いします。